

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●丸田恭介騎手がJRA通算400勝を達成

3月20日(祝・金)の2回中山7日・第7レースではエンパイアシューアーが1着となり、同馬に騎乗した丸田恭介騎手(美浦・フリー)は、現役41人目となるJRA通算400勝(7147戦目)を達成しました。

●田辺裕信騎手がJRA通算900勝を達成

3月21日(土)の2回中山8日・第9レースとして行われた黄梅賞ではクロノメーターが1着となり、同馬に騎乗した田辺裕信騎手(美浦・フリー)は、史上46人目、現役では23人目となるJRA通算900勝(1万833戦目)を達成しました。

●小林脩斗騎手がJRA初勝利をあげる

3月21日(土)の2回中山8日・第2レースではアイアムイチオシが1着となり、同馬に騎乗した小林脩斗騎手(美浦・奥平雅士厩舎)は、JRA初勝利(20戦目)をあげました。

●北村宏司騎手がJRA通算1万5000回騎乗を達成

3月21日(土)の2回中山8日・第6レースでプレシオーソに騎乗した北村宏司騎手(美浦・フリー)は、この騎乗で、史上15人目、現役では12人目となるJRA通算1万5000回騎乗を達成しました。

●国枝栄調教師がJRA通算900勝を達成

3月21日(土)の2回中山8日・第5レースではアンティシペイトが1着となり、同馬を管理する国枝栄調教師(美浦)は、史上22人目、現役では2人目となるJRA通算900勝(延べ7723頭目)を達成しました。

●中尾秀正調教師がJRA通算300勝を達成

3月22日(日)の1回阪神9日・第4レースではタガノアンピールが1着となり、同馬を管理する中尾秀正調教師(栗東)は、現役64人目となるJRA通算300勝(延べ3393頭目)を達成しました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●京浜盃(大井)は船橋の伏兵ブラヴール【各地の主要3歳重賞】

京浜盃(3月18日、大井、1700^円)は、中団から追い上げた8番人気のブラヴール(牡、父セレン)が残り100^円を切った辺りで差し切り勝ち。1番人気に推された、これがJRAから大井へ移籍緒戦のコバルトウィングは2着、2番人気の全日本2歳優駿の覇者ヴァケーションは5着でした。東海地区デビュー馬限定戦の中京ベガスターC(3月10日、名古屋、1600^円)は、3~4番手を進んだ1番人気の新春ベガスターCの優勝馬エムエスオープン(牝、父バトルブラン)が4コーナー手前で逃げ馬を捉え、2馬身差の完勝を収めました。土佐春花賞(3月22日、高知、1300^円)は、先手を取った3番人気のリワードアヴァロン(牡、父グランシュヴァリエ)が後続を3馬身引き離して重賞初制覇。1番人気の金の鞍賞馬レイズパワーは3着に敗れています。

●パッシングスルーらが出走、4月2日のマリーンC(船橋)

マリーンC(JpnIII、4月2日、船橋、1600^円)は、傑出馬不在で混戦模様も、パッシングスルー、メモリーコウ、ラインカーナ、サルサディオオーネ(大井)、スマートフルーレの順に有力視されます。※地方競馬は2月下旬より無観客開催となっておりますが、最新の開催情報については各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●ドバイワールドカップデー開催が中止

3月28日にアラブ首長国連邦ドバイのメイダン競馬場で開催予定だったドバイワールドカップデー開催が中止されました。新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、3月22日に主催者であるドバイレーシングクラブが発表しました。なお、これに伴って、JRAで予定していた同開催の勝馬投票券発売も取りやめとなっています。

●G1ゴールデンスリッパーS~ファーンが人気に応える

2歳戦としては世界最高賞金(350万豪^{ドル}≒約2億6600万円/1豪^{ドル}76円)を誇るG1ゴールデンスリッパーS(2歳、芝1200^m)が3月21日にオーストラリアのローズヒルガーデンズ競馬場で行われ、1番人気のファーン(牡、父ノットアシングルダウト)が逃げ切って優勝しました。鞍上のH.ボウマン騎手は初制覇。管理するG.ウォーターハウス&A.ポット厩舎も共同名義としては初制覇となりました(G.ウォーターハウス調教師個人では過去に6勝)。ファーンは2月22日のG2シルバースリッパーS、3月7日のG2トッドマンSを連勝してここに臨んでいました。

●香港ダービー~ゴールデンシックスティがシリーズ完全制覇

3月22日に香港のシャティン競馬場で行われた香港ダービー(4歳、香港調教馬限定、芝2000^m)はC.ホー騎手が手綱を取ったゴールデンシックスティ(騾、父メダーリアードロ、K.ルイ厩舎)が直線で素晴らしい末脚を披露して優勝。1月の香港クラシックマイル(芝1600^m)、2月の香港クラシックC(芝1800^m)に続く勝利を収め、2017年のラッパードラゴン以来、史上2頭目となる4歳クラシックシリーズ3戦の完全制覇を成し遂げました。